

【月案】8月・5歳児

今月の保育のポイント

- 夏ならではの遊びを友達と十分に楽しみ、水遊びや泥遊び、当番活動など、遊びや生活の中で自分なりの目当てや気づきをもって力をじっくりと発揮できるよう、援助する。
- 友達との関わり、異年齢の子どもと関わる経験を通して、集団の中では自分の思いを通すだけでなく、自分とは違った他者の考えを受け入れること、正しい、間違っているだけではなく、色々な考え方があってよいことを知る。また、自分よりも小さい子どもと関わり、余裕をもって人と接する経験を積む。
- 夏野菜の収穫、雷、にわか雨、虫との出会いなど、夏の自然に十分にに関わり、友達とその時の気持ちを共有しあい、発見を伝える。保育者は予備知識を伝えるなど、色んな方向から同じ目線に立って自然との出会いを共有する。

月のねらい

- 自分なりに目標や目当てを持って、存分に遊びを楽しむ。
- 活動と休憩のバランスをしっかりと取りながら、元気に過ごせるようにする。
- 夏ならではの遊びを楽しみ、友達と一緒に試したり考えたりしながら遊ぼうとする。
- 動物や植物に触れ、自然に興味を持ったり命があることを知る。
- 安全で衛生的な環境を整え、夏を健康に過ごせるようにする。
- 友達と神輿を作ったり、踊りを踊ったりしながら一つの作品を作る達成感を味わう。
- 異年齢児や地域の大人との様々な関わりを楽しむ。
- 自分や友達の考えを伝え合ったり、相手の考えを受け入れたりしながら遊ぶ。

週のねらい

その1

- 1週目：夏ならではの遊びを、友達と一緒に工夫しながら楽しむ（教育）
- 2週目：遊びや活動の途中でも休憩や水分補給を行い、元気に遊ぶ（養護）
- 3週目：虫や植物に命があることを知り、関わり方に気をつけながら親しむ（教育）
- 4週目：友達と一緒に同じ目的に向かって遊びを進める楽しさを味わう（教育）

その2

- 1週目：熱中症に気を付けながら活動と休息のバランスを取って健康的に過ごす（養護）
- 2週目：夏祭りに向けて保育者や友達と一緒に意欲をもって準備する（教育）
- 3週目：夏の遊びを楽しみ、工夫したり試してみたりしながら遊びを進めていく（教育）
- 4週目：友だちと思いや考えを伝え合いながら、いっしょに遊ぶ楽しさを感じる（教育）

その3

- 1週目：友達と神輿を作ったり、踊りを踊ったりしながら夏祭りに期待を持つ（教育）
- 2週目：園庭や室内の環境を整え、快適に過ごせるようにする（養護）
- 3週目：夏祭りに参加し、様々な人との関わりやコーナーを楽しむ（教育）
- 4週目：長期休み明け、友達と会える喜びを味わう（教育）

その4

- 1週目：水や泥に親しみ遊ぶ中で性質に気付いたり、関心を深める（教育）
- 2週目：夏野菜の栽培や収穫を通して、日々の食事に関わる人に感謝の気持ちが生まれる（教育）
- 3週目：友達と知識を出し合って遊びを発展させていくことを楽しむ（教育）
- 4週目：夏祭りの思い出を言葉や絵で表現し、余韻を味わう（教育）

前月末の子どもの姿

養護（生活）

- 暑い日には自分で水分補給を行う姿が見られる。「一度にたくさん飲まない」ことを繰り返し伝えることで、自分で調整しながら飲む子どもが増えてきた。一方で、こまめに行う子どももいれば、遊びに夢中になって間隔が空いてしまう子どももいる。
- 戸外で思いっきり遊んだ後は、汗びしょりになっている子どもが多い。次の活動までに焦ってしまい、なかなか着替えようとしなかった子どももいたが、着替えの時間を設けることで、進んで着替えようとする姿が見られている。
- 夏野菜が実り、収穫できるようになってきた。収穫した子どもは嬉しそうにし、もう少し待って収穫する子どもはとても楽しみにしている。
- 友達が水分補給をしたり、着替えをしていると一緒に行動しようとする様子が見られる。
- 包丁を使った調理活動を喜び、意欲的に参加したり食事をしていた。
- セタの製作を通して自分の名前や願い事を平仮名で書こうとする意欲が見られた。

教育（遊び）

- 友達の話最後まで聞かず、遊びを自分のペースで進めてしまっていた子どももいたが、聞く大切さを繰り返し伝えていくうちに聞こうとする姿が見られるようになってきている。しかし、遊びに夢中になりすぎると聞けないこともある。
- 自分なりに想像を膨らませながら遊びを楽しんでいる子どもが多い。友達にイメージを伝えたり、考えたルールを説明したりする姿が見られるようになってきている。
- お泊まり保育では、初めておうちの人と離れるため、不安を感じている子どももいた。活動が始まるといつもと違った雰囲気ワクワクし、楽しんでいる姿が見られた。
- プール遊びには喜んで参加している子どももたくさんいたが、顔に水がかかると嫌がっている子どももいる。はじめは楽しくてルールを忘れて夢中で遊んでしまう姿もあったが、少しずつルールも気にしながら安全に気をつけて遊ぼうとする姿も見られるようになってきている。
- セミが鳴き始めるとどこにいるのか探したり、抜け殻を集めて喜んでいる姿が見られた。虫があまり得意ではない子どもも、友達が夢中になっている姿を見て、興味を示していた。
- カブトムシやメダカ等の飼育では「餌がないからあげよう」「○○すると良いて書いてある」等と興味を持って世話をしたり調べたりする様子が見られていた。
- お泊り保育を通して、友達と話し合ったり1つの物を作ったり、一緒に活動することに達成感や喜びを感じており、仲間意識が深まった。
- 水や泥、氷等の性質に気付き、「○○するとこうなるよ」と知識を友達に伝えたり、遊びを広げることを楽しんでいた。
- 夏祭りに向けて盆踊りを踊る時間を設けると、「夏祭りいつ?」「早く夏祭りしたい」等と期待する姿が見られている。
- “一番楽しかったこと”を言葉や絵等で表現し、他児も気持ちに共感したり、自分の意見を言ったりする。

活動内容（5領域対応）／環境構成と援助

養護（生活）

- **活：**休憩をとる、水分補給をするなど、暑い日の過ごし方を覚え、健康に気をつけながら過ごそうとする。（健康）
環：水分補給などもだんだんと習慣になり、子ども自ら行うようになってくる一方で、遊びに夢中になると忘れてしまう子どももいる。全員きちんと水分補給ができているか確認し、みんなで休息する時間をとるようにする。
- **活：**汗をかいたり服が汚れたりしたときには自分から着替えを行い、心地よく過ごす。（健康）
環：着替えの時間を設けることで、子どもが自分で着替えを行えるようにする。
- **活：**水遊びの際には、水着やおもちゃの準備や後始末を自分で行う。（健康）
環：水遊びの際には、濡れた水着やおもちゃの後始末を自分でできるよう、ルールや置く場所などを作っておく。
- **活：**異年齢の友達と関わりを持ち、優しい態度で接しようとする。（人間関係）
環：夏祭りなどの行事や自由遊びの際に異年齢の友達と関わる機会を設け、年下の友達に対する態度や言葉遣いを考えられるようにする。
- **活：**身体の仕組みを知り、自分から意欲的に水分補給をしたり食事を摂る。（健康）
環：栄養について、野菜や肉などが身体の成長にどう関わりがあるかを知るなど、給食室等と連携をとりながら子どもが知る機会をつくる。
- **活：**遊びに使った共有物の後始末を、整理整頓しながら片付ける。（健康・環境）
環：遊びから片付けの切り替えが出来るように、事前に予告するなど、子どもが見通しをつける時間を取り、保育者も綺麗に重ねるなど使いやすい配置に片付け、快適さを伝えていく。
- **活：**友達と考えや思いを出し、他者の思いや気持ちを受け入れながら協力して過ごす。（人間関係）
環：友達との話をじっくり見守り、必要な時のみ援助を行う。トラブルで他の友達が助けるシーンなどでは、子どものそれぞれの良い所を認める声掛けをする。
- **活：**夏の季節を安全で健康に過ごせるようにする。（健康）
環：長期休み明けや夏の暑さ・行事前後の疲れや高まる気持ちを受け止め、ゆったりと過ごせる環境を整えたり、危険がないよう十分に留意していく。夏の心や体の状態等について子ども達にも分かりやすく伝えていく。
- **活：**野菜の収穫や調理を喜び、食材や料理を作ってくれる人に感謝の気持ちが芽生える。（人間関係・環境）
環：毎日の食事に関わる人や物等について考えたり、もう一度食事の挨拶の大切さについて考えていく。思ったことや考えたことを言葉にする姿を受け止めて、食事への関心に繋げる。
- **活：**包丁の使い方や危険性が分かり、気を付けながら使う。（環境）
環：先月の活動を振り返りながら扱い方について確認し、守って使おうとする様子を大いに認める。
- **活：**夏祭りに参加し、日本の伝統文化に親しむ。（環境）
環：行事に関する本を用いて、夏祭りの由来や日本の夏祭り等について分かりやすく伝えて、園の夏祭りに対する期待や日本の夏祭りについての関心を深めていく。
- **活：**お弁当包みやコップ入れの紐、友達のエプロンの紐等を結んでみようとする。（環境）
環：手を添えて一緒に結んだり、紐結びが経験できるよう働きかけて手先の発達や達成感を感じられるようにする。
- **活：**保育者と一緒に夏祭りの準備や司会等、年長児としての役割に意欲的に取り組む。（人間関係・環境）
環：安心して取り組めるよう側につきながら、出来ていることを大いに認めて自信や喜びに繋げていく。

- **活：**自分の思いや考えを安心して言葉にできるようにする。（言葉）
環：目線を合わせてじっくりと話を聞き、共感したり質問したりしながら聞いてもらえる喜びや満足感、心の安定に繋げていく。

教育（遊び）

- **活：**活動や遊びの際には自分なりの目的を持ち、工夫しながら進めようとする。（表現）
環：活動の際には子どもの思いや考えを聞き、遊びの中で目標を持てるように援助していく。
- **活：**遊びの中で友達と関わり、一緒に話し合いながら遊ぶ充実感を味わう。（人間関係・言葉）
環：子どもが自分と他者の思いや考え方の違いに気づき、互いの良さや認め合う心地よさを感じられるように保育者は集団の中の子ども一人ひとりの気持ちを汲み取っていく。
- **活：**身近な生き物や植物の世話を通して命があることに気づき、大切さを知る。（環境）
環：ザリガニやセミなど夏の生き物に触れる中で命があることを知り、大切にすることが持てるように声をかけていく。
- **活：**絵本や物語に親しみ、内容を想像しながら聞くことを楽しむ。（表現）
環：短すぎたり長すぎない物語を準備し、子どもが集中して物語を楽しめる環境を整える。
- **活：**体験したことや感じたことを自分なりに言葉で表現する楽しさを味わう。（言葉・表現）
環：休みの間に体験したことを話題にし、それぞれが自分の思いや経験したことを言葉で表現する機会が持てるようにする。
- **活：**プール遊びでのルールを守りながら、友達と一緒に楽しく遊ぶ。（健康・人間関係）
環：プール遊びの際にはルールをしっかりと確認し、子ども自ら安全に気をつけながら遊べるようにしていく。
- **活：**自分なりの目標をもち、繰り返し挑戦して自信をつける。（健康）
環：物事に対して、一人ひとりの目標をその子どもと一緒に決め、それに向かって意欲を出せるような応援や励ましの声掛けを行っていく。
- **活：**自然物や絵具などで色水遊びを楽しみ、友達や保育者と楽しみ合う。（人間関係・表現）
環：色水遊びに使うものを整理しておいておく。手伝えるものは子どもと準備して分類をする。一緒にどんな色になったかを共有していく。
- **活：**収穫した夏野菜や、それを住み家に生きる生物に関心をもち、身近な命のサイクルを知る。（人間関係・環境）
環：夏野菜を収穫する時に身近に生きる生物を捕獲飼育し、生物も野菜や草を食べる、虫を捕食することを知れるようにする。図鑑や本などを用意しておき、子ども達とアイデアを出しながら飼育を進め、その軌跡を写真にまとめておき、話し合いで使えるようにする。
- **活：**水や泥等の様々な特徴を知り、取り入れたり工夫したりしながら遊びを広げる楽しさを味わう。（環境）
環：発想や工夫したこと、友達と遊びを広げる様子を笑顔で大いに認めたり、遊びの写真を撮って掲示物を作ったりすることで充実感や達成感を感じられるようにする。
- **活：**水の役割や危険性について考えたり、知識を深める。（環境）
環：水に触れて遊ぶことが多い時期だからこそ、日常の水の役割や水の大切さ・怖さ等について考える時間を設けて水への関心を深めたり危機管理能力を育てていく。
- **活：**夏祭りに向けて友達とお神輿を作ったり、一つの踊りを完成させる達成感を味わう。（人間関係・表現）
環：「こうしたい」「これを使いたい」等の言葉を受け止め、他児にも知らせながらクラス全体で話し合えるよう援助し、友達と一つの物を作り上げる過程を大切することで達成感や仲間意識を高めていく。
- **活：**経験したことや感動したことを絵で表現し、友達と見せ合うことを喜ぶ。（人間関係・表現）
環：一人ひとりの表現を受け止めながら、発表し合う時間を設ける。“何が楽しかったか”“どんなところが素敵か”等を子ども同士で伝え合えるように援助していく。

- **活：**夏祭りの練り歩きや盆踊り等を通して、声や体で表現することを楽しみ、一体感を味わう。
(環境・表現)
環：これまでの夏祭りの写真や動画でイメージに繋げつつ、保育者が笑顔で雰囲気盛り上げて意欲や表現に繋げる。「皆の声が空に響いてるね」「力を合わせて練り歩けたね」と言葉かけして一体感や達成感に繋げる。
- **活：**友達と知識を出し合ったり、図鑑や絵本で調べながら生き物を飼育する。(人間関係・環境)
環：興味に合った図鑑や絵本を用意しておき、主体的な気付きや学びを大切にしながら、試したいことは一緒に取り組み、生き物の一生を間近で感じることで命を大切にする気持ちを育んでいく。
- **活：**夏祭りを通して異年齢児や地域の方と触れ合うことを楽しむ。(人間関係)
環：異年齢児混合のグループを作ったり、地域の方にコーナーを依頼したりしながら非日常の中、様々な人と触れ合うことや雰囲気を楽しめるようにする。
- **活：**雷やにわか雨、虹等の夏の自然事象に興味を持つ。(環境)
環：雷や虹等を見た後に絵で表現する機会を設けたり、疑問を言葉にする時はどうして起きたのかを一緒に調べたり、簡単な実験をすることで関心や理解を深められるようにする。
- **活：**自分のイメージを様々な素材や玩具を使って表現することを楽しむ。(環境・表現)
環：保護者や職員にも協力を得ながら様々な素材を集めておく。発想や工夫を大いに認め、完成した物を飾っておくことで満足感や充実感、創造性に繋げていく。

健康、安全面で配慮すべき事項

- 暑さで疲れが出やすい時期。体調に変化がないかを注意して観察し、いつもと違う様子があったら休憩したり保護者にすぐ連絡がとれるようにしておく。
- 室内で過ごす時は温度の設定に気をつけ、冷房が効きすぎたり蒸し暑くならないようにする。
- プール・水遊びに慣れて遊びがダイナミックになってくるため、再度約束事の確認をしたり、必ず監視役の保育者を配置し事故予防に努める。
- 夏祭りで飲食コーナーを設ける場合は衛生面やアレルギー食材に十分留意して提供する。

今月の製作・歌・絵本・手遊び・室内室外遊び

製作

- キラキラうろこの魚／わたしのサングラス／キラキラ花火

歌

- てのひらをたいように／はなび／とんでったバナナ

絵本

- うみの100かいだてのいえ／はかせのふしぎなプール／すいかのたね

手遊び

- たなばたさま／すいかのめいさんち／きつねがね、ばけたとさ

室内室外遊び

- お化けになりきり遊び／ピンポン玉運び／泥団子づくりの極

行事

- プール遊び
- 夕涼み会（夏祭り）
- 避難訓練
- 誕生会
- 身体測定
- 水の日（8/1）
- 原爆の日（8/6，9）
- 山の日（8/11）
- お盆（8/13～）
- 終戦記念日（8/15）

食育

- 食材が料理になるまでの過程を紹介し、食事を作ってくれる人や食材に感謝の気持ちを持つ。
- 時間を気にしながら、決まった時間内に食べ進めようとする。
- 夏祭りの雰囲気味わいながら、友達と食事することを楽しむ。
- 心地よい環境の中で友達と会話をしながら食べることを楽しむ。

異年齢保育

- 乳児の世話を手伝おうとする意欲や優しさを受け止め、最年長としての自信につなげていく。
- お店屋さんごっこを通じた年下の友だちとの交流を見守り、やり取りを楽しめるよう援助する。
- 感触遊びでの一人ひとりの表現に寄り添い、友だちと気持ちを分かち合えるよう関わる。
- お盆の合同保育で友だちに優しく接する姿を大切に、互いに親しみが深まるよう仲立ちする。
- ダイナミックに水遊びを楽しむ姿を見守り、必要に応じて周囲への配慮に気づける声かけを行う。

職員間の連携

- 収穫した野菜でクッキングをしたり、給食に使ってもらえるよう、調理員と連携する。
- 職員体制に応じた安全な水遊び環境について話し合い、柔軟に対応できるようにする。
- 夏祭り当日はスムーズな進行と誘導ができるよう、流れや役割分担を全職員で確認する。
- 連休明けの子ども様子を共有し、必要に応じて個別の配慮を行えるようにする。
- 製作遊びの素材や道具の補充・点検は、役割分担をしながら行い、常に楽しめる環境を整える。

地域と家庭との連携

- 室内で過ごしていても熱中症になりやすい時期。快適に過ごし、適度な水分補給を家庭でも行うようお願いする。
- 花火大会や夏祭りなど、地域の行事も知らせ、子どもたちが興味を持っているものを伝えていく。

- 園庭開放や水遊びの機会を設け、保護者同士も様々な人と関わりが持てるようにする。
- 長期休暇中の出来事を共有し、無理のない生活を送れるようにする。
- 夏祭りに向けて取り組んでいる様子を知らせ、成長を感じられるようにする。
- 地域の方に夏祭りのお知らせをして交流を図る。

長時間保育の配慮

- 安心してくつろげる環境を整え、個々のペースで好きな遊びを楽しむ姿に寄り添う。
- エアコンを適切に活用し、室温や湿度を調整して、心地よく過ごせる環境を整える。
- 横になれるスペースを用意し、必要に応じて休息を取れるようにする。
- 担任から引き継いだ日中の子どもの様子や申し送り事項を、正確に保護者に伝える。
- 夕方の涼しい時間帯には、戸外遊びや散歩を取り入れ、気分転換を図る。

自己評価

- 暑い日の過ごし方を覚え、健康に気をつけて過ごすことができたか。
- 汗をかいたり服が汚れたりしたときには自分から着替えを行っていたか。
- 水遊びの際には、水着やおもちゃの準備や後始末を覚え、自分で行うことができたか。
- 異年齢の友達と関わりを持ち、優しい態度で接することができたか。
- 活動の際には自分なりに目的を持ち、工夫しながら活動できたか。
- 友達と関わり、一緒に話し合いながら遊ぶ充実感を味わえたか。
- 身近な生き物や植物の世話を通して命を大切にしようと思えたか。
- 物語に親しみ、内容を想像しながら聞くことを楽しめたか。
- 体験したことや感じたことを自分なりに表現できたか。
- プール遊びでのルールを守り、友達と一緒に存分に楽しめたか。
- 休み明けの疲れや夏の暑さの疲れを考慮した生活を送れたか。
- 夏祭りに向けて友達と話し合ったり、1つの作品を作ったりする中で仲間意識を深めることができたか。
- 経験したことや感動したことを言葉や絵で表現する機会を設けられたか。
- 夏野菜の栽培や調理を通して、日々食事に関わってくれている人に感謝の気持ちが芽生えていたか。
- 水遊びを通して、日々の水の役割や水の性質について触れる時間を設けたか。
- 夏祭りでは自分の役割や友達と何かをやり遂げる充実感、いろいろな人と触れ合う楽しさを味わっていたか。
- 夏の自然事象について関心を深められたか。
- 夏の感染症や熱中症等について保護者に知らせ、家庭での意識に繋がられたか。
- 保護者とのやりとりの中で、夏祭りに意欲的に参加していることや日常で頑張っていること等を伝えて成長を感じられるようにしたか。
- 地域の行事や園の夏祭り等を通して地域の人と触れ合ったり、地域の一員であることを楽しめたか。

ほいくのおまもり Plus!

文例ご利用時の注意事項

- 提供される文例は、一般的なケースを想定して作成されています。ご自身の具体的な状況やニーズに合わせて適宜修正を加えてご利用ください。
- 文例の利用によって生じたいかなる結果についても、当サービスは責任を負いかねます。自己責任においてご使用ください。
- 文例は参考としてのみご利用いただき、直接のコピー＆ペーストではなく、ご自身の言葉で表現を加えることをお勧めします。
- 法的な文書や重要な契約に関する文面は、専門家のアドバイスを受けて作成することをお勧めします。
- 文例の著作権は当サービスに帰属しています。無断での再配布や商用利用はご遠慮ください。

ほいくのおまもりプラス・トップページ

